

日付	JIS番号：発効年 規格名称	件名	問合せ内容	回答
2024.06.28	JIS A 5406:2023	JISA5406 建築用コンクリートブロックにおけるフェイスシェルの吸水層の厚さ試験について	<p>JISA5406の防水性を確認するフェイスシェル吸水層の厚さ試験（箇条9.4）は、同箇条のe)にて「d）で破断した縦断面の高さ方向の上部、中央部及び下部の3点について、水中に浸せきしたフェイスシェルの外側表面からの吸水層の厚さを、9.4.1に規定する測定器を用いて測定する」と規定されているが、上下端から吸水した部分は除外して測定してよいのか判断ができない。当該測定方法が制定された2005年版JISA5406の解説7.4フェイスシェル吸水層の厚さ試験では「ただし、上部及び下部の測定位置は、上端及び下端からの吸水の影響を受けないところとする。」との記載はあるものの、その後のJIS改正ではこの記述は規格本文には反映されておらず、上下端から吸水した部分をどのように取り扱えばよいかわからない。なお、上下端を除外して測定してよい場合は、現行JISで規定する「縦断面の高さ方向の上部、中央部及び下部の3点」をどのように決めればよいのかもご教示願いたい。</p>	<p>上下端を除外して測定してよい。縦断面の高さ方向の上部、下部の位置は製造業者の判断に委ねるが、端面よりフェイスシェルの正味肉厚の厚さ寸法以上離れた位置が望ましい。</p> <p>（補足） 原案作成団体に対して、次回改正時に上記内容を盛り込むよう指示した。</p>